

令和5年7月4日

静岡県社会部記者室 御中

国立大学法人静岡大学

## 「令和4年9月24日台風被害に関するシンポジウム」の開催について

静岡大学防災総合センターでは、標記シンポジウムを下記により開催します。

本シンポジウムは、昨年（令和4年）の台風15号の影響による大雨により、9月24日未明に静岡市巴川流域で大規模な洪水が発生し、その後、静岡市清水区のほぼ全域で1週間に及ぶ断水が発生したことについて、当日の気象や被害状況に関する学術データのほか、復旧に向けた支援とその課題などについて解説します。

近年、地球温暖化に伴い、大気活動が活発化する傾向にあるため、類似の豪雨災害の発生頻度が高くなることが危惧されていることから、一人でも多くの方に、身近に潜む自然災害の危険やリスクを知り、防災意識を高めていただくことを本シンポジウムの目的としております。

報道機関の皆様におかれましては、是非、事前の周知と当日のご取材をいただきますよう、ご案内方々、お願い申し上げます。

### 記

日 時：令和5年8月20日（日） 13:00～16:00

会 場：清水テルサ 1階テルサホール（静岡市清水区島崎町223）

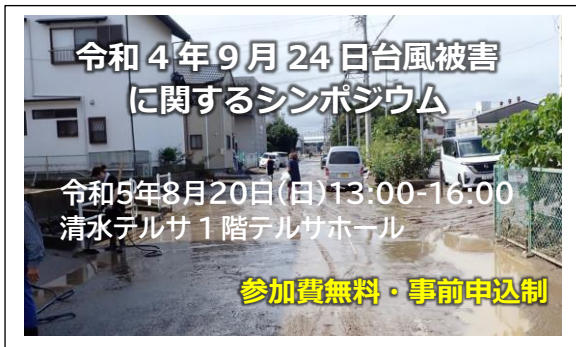
参加費：無料（事前申込制）

対 象：一般市民

講 師：静岡大学教員、静岡地方気象台長、防災科学技術研究所研究員

※申込方法、プログラム等の詳細は別紙案内をご参照ください。

以上



### お問い合わせ先

部局名 静岡大学防災総合センター事務局

担当者 西山卓男

TEL 054-238-4632

メールアドレス

only-office@mail.cnh.shizuoka.ac.jp

内容についてのお問い合わせ先

担当者 北村晃寿（防災総合センター長）

TEL 054-238-4798

# 令和4年9月24日台風被害 に関するシンポジウム

参加費無料・事前申込制

昨年(令和4年)の台風15号の影響による大雨により、9月24日(土)未明に静岡市巴川流域で大規模な洪水が発生し、その後、清水区のほぼ全域で1週間に及ぶ断水が起きました。

地球温暖化に伴い、大気活動が活発化する傾向にあるため、類似の豪雨災害の発生頻度が高くなるのが危惧されています。

そこで、本シンポジウムでは、当日の気象や被害状況に関する学術データのほか、復旧に向けた支援とその課題などについて解説し、防災意識を高めてもらうことを目的とします。

日時

令和5(2023)年

8月20日(日)

13:00~16:00(受付開始12:00)

会場

静岡市東部勤労者福祉センター

清水テルサ

1階テルサホール

静岡市清水区島崎町223

(JR清水駅徒歩5分、静鉄新清水駅徒歩7分)

## 対象

どなたでも参加できます

## 参加費

無料(事前申込制)

## 参加申込

QRコードまたはURLから、8月16日までに  
お申し込みください。



<https://forms.office.com/r/Zc4KwGp2bu>

## 主催

静岡大学防災総合センター

## 問い合わせ

静岡大学防災総合センター事務室

メール: [only-office@mail.cnh.shizuoka.ac.jp](mailto:only-office@mail.cnh.shizuoka.ac.jp)

電話: 054-238-4502, 4632 (9:00-16:00)

※ 8/14, 8/15は夏季一斉休業日

## ■プログラム

司会: 原田賢治(静岡大学)

### ■開会 13:00-13:15

開会挨拶 北村晃寿(静岡大学防災総合センター長)

来賓挨拶 難波喬司(静岡市長)

森 貴志(静岡県副知事)

### ■第1部 13:15-14:25

#### 報告

・令和4年台風15号の気象状況について 北田繁樹(静岡地方気象台長)

・2022年台風15号に伴う降水量及び被害の特徴 牛山素行(静岡大学)

・台風15号による巴川下流域の河川氾濫-高密度3次元点群による分析  
小山真人(静岡大学)

### ■第2部 14:40-15:30

#### 報告

・台風15号洪水被害と七夕豪雨被害の比較 北村晃寿(静岡大学)

・清水区における中・高生への意識調査 上田啓瑚(防災科研究員)

・2022年台風15号災害における中・長期支援とその課題  
-清水区の状況を中心に 望月美希(静岡大学)

### ■質疑応答 15:30-15:55

### ■閉会 15:55-16:00

閉会挨拶 岩田孝仁(静岡大学)